

# Monkey Bars

# Monkey Bars Ridge Ready

SX6150 SX6140

2/23  
REGGAR JAN/23

## What's in the Box : 内容物

- ・ フロントバーマウント  
（スタンダード SeaSecker2 個付き） 2 セット
- ・ リアバーマウント  
（楕円型 SeaSecker2 個付き） 2 セット
- ・ クロスバークランプ 4 個
- ・ アルミ製クロスバー（48"） 2 本
- ・ 潤滑油チューブ 5g
- ・ 予備 SeaSucker 真空ポンプ 1 本
- ・ 5/32 六角レンチ

## What's in the Box : 内容物

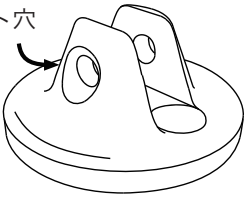
- ・ フロントバーマウント  
（スタンダード SeaSecker2 個付き） 2 セット
- ・ リアバーマウント  
（楕円型 SeaSecker2 個付き） 2 セット
- ・ クロスバークランプ 4 個
- ・ アルミ製クロスバー（48"） 2 本
- ・ 潤滑油チューブ 5g
- ・ 予備 SeaSucker 真空ポンプ 1 本
- ・ 5/32 六角レンチ

## 組み立て方法

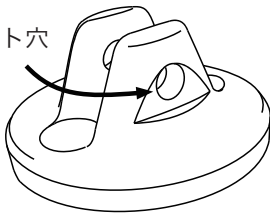
SeaSucker モンキーバーを使用するには、簡単な組み立てが必要です。

理想的には、車両の近くでラックを組み立てて、ラックを屋根にフィットさせ調整できるようにします。

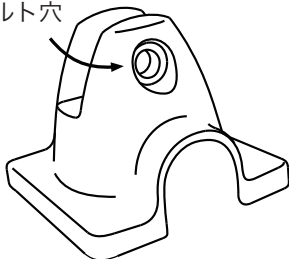
ボルト穴



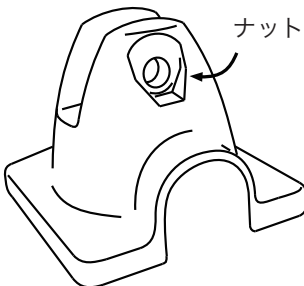
ナット穴



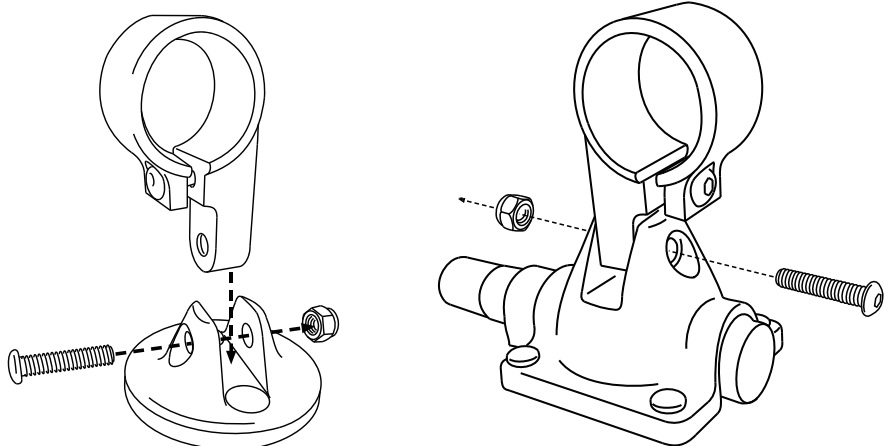
ボルト穴



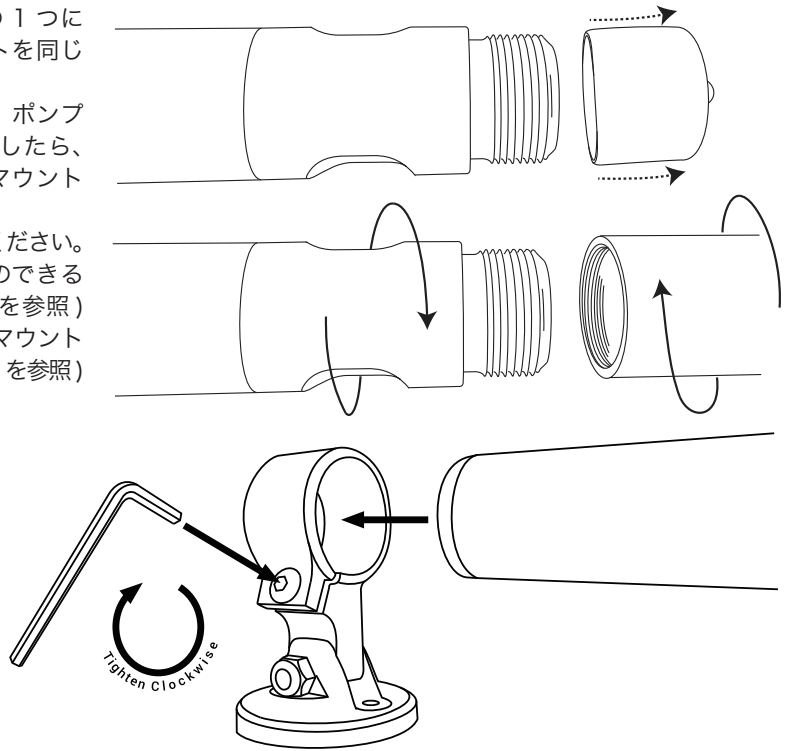
ナット穴



- 1) クロスバークランプは、ナットとボルトで前後のバーマウントに取り付けます。下の図のようにクランプをマウントの溝に入れ、クランプの締め付けボルトの頭とボルト穴が同じ方向を向くようにクランプの向きを合わせます。
- 2) フロントバーとリアバーのボルト穴とナット穴の違いを図で説明した左の図を参照してください。1-1/4 インチのボルトをボルト穴に挿入し、クランプを通し、ナット穴から出します。ナットをボルトの端に手でできるだけしっかりとねじ込み、ナットをナット穴に押し付けて保持します。
- 3) 5/32 インチの六角レンチを使用してボルトを回し、ボルトの端がナットの内側にある白いナイロンロックインサートの外側の端とちょうど同じ高さになるまでボルトを締め仮止めます。他の 3 つのバーマウントについても繰り返します。
- 4) 次にクロスバーを組み立てます。最初に、ネジ付きコネクタの端にある保護用のプラスチックキャップを取り外します。付属の潤滑チューブを指先に 1 ~ 2 滴垂らし、露出したねじ部分に潤滑油を塗り広げます。潤滑油の薄膜を作成することで組み立て後にねじ山が固着するのを防ぎ、保管や輸送の際にバーを簡単に緩めることができます。
- 5) 次に、アルミ製のクロスバーを組み立てます。クロスバーはねじ付きのものとタップが切られているものがセットになります。キャップを外しねじ部分をタップに回転させ接続します。回らなくなるまでしっかりとねじ込んでください。これを前後 2 セット準備します。



- 6) 次に、フロントパーマウントの 1 つをクロスバーの 1 つにスライドさせます。もう一方のフロントパーマウントを同じバーの反対側にスライドさせます。
- 7) マウントは左右を取り違えないようご注意ください。ポンプが後方、及び斜めのポンプが外側を向くように配置したら、マウントからプロテクトカバーを取り外し、バーとマウントをルーフに設置します。
- ※ 仮組状態の移動時にマウントが落下しないようご注意ください。
- 8) 各フロントパーマウントをルーフのフロントコーナーのできるだけ近くに配置します。(以下の「取り付け場所」を参照)
- 9) フロントパーマウントの位置決めが完了したら、真空マウントをポンプして屋根に固定します。(下の「ラックの取り付け」を参照)
- 10) クロスバーをフロントパーマウント間の中央に配置し、5/16 インチの六角レンチを使用して、各フロントパーマウントのクランプ ボルトを締めます。これで、フロントクロスバーが屋根にフィットするはずですが、使用することも、車から取り外すこともできます。(以下の「ラックの取り外し」を参照)

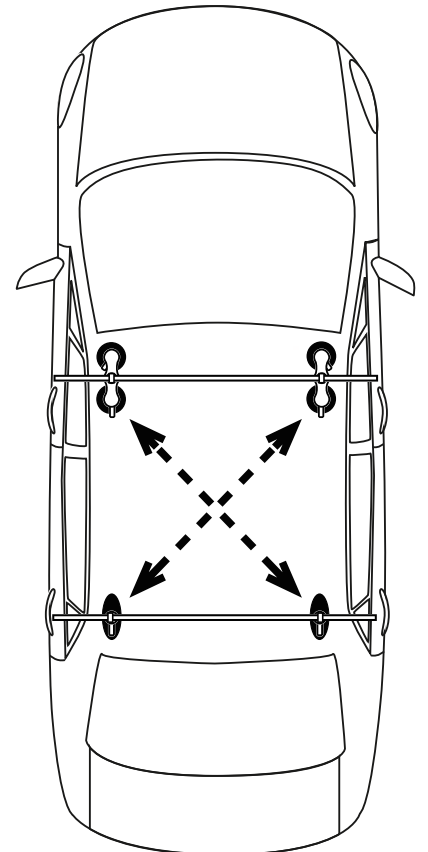


## 取り付け場所

モンキーバーは、車の屋根に取り付けるように設計されています。理想的には、ラックのバキュームマウントは、屋根が最も頑丈な車の屋根の前後の角に取り付ける必要があります。一部の車の屋根の中央部分は、ラックや輸送するものの重量を支えるのに十分なほど頑丈ではない場合があります。

モンキーバーの Ridge Ready バージョンをお持ちの場合は、バキュームマウントが屋根の凹凸間の溝に収まるように配置します。

SeaSucker ラックの各バキュームマウントは、清潔で凹凸のない金属またはガラスの表面に取り付ける必要があります。バキュームパッドは、継ぎ目やその他素材をまたぐ箇所には取り付けられません。

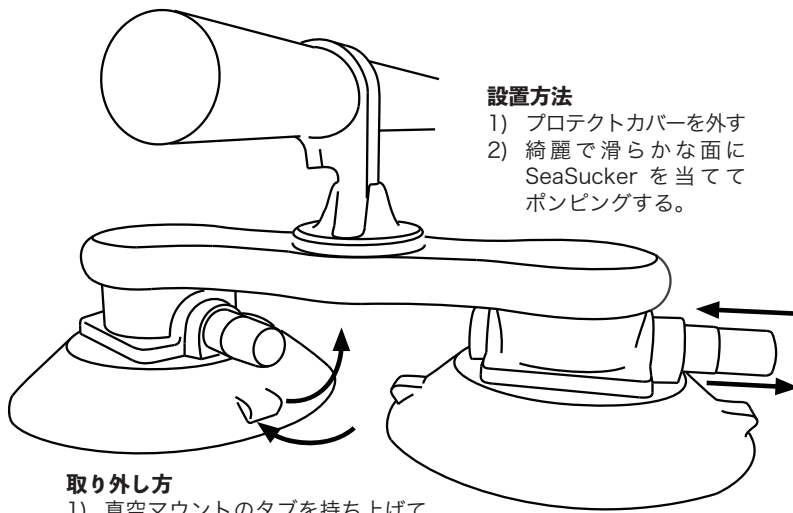


## ラックの取り付け：クリーニングとポンプ

- 1) ラックを取り付ける表面をきれいにします。ほこりや汚れが付着していると SeaSucker の真空性、吸着力に影響を与えます。
- 2) 各真空マウントからプロテクトカバーを取り外し、ゴム製の真空パッドに損傷や汚れがないかを確認します。破損がみられる場合は、ラックを使用しないでください。
- 3) バキュームパッドが汚れている場合は、中性洗剤を水で薄めた溶液と柔らかい布またはスポンジで掃除して下さい。  
各真空パッドを水で湿らせるとより吸着しやすくなる場合がありますが、クリーナー、潤滑剤、またはその他の液体は使用しないでください。
- 4) 真空マウントを取り付け面に密閉するように押しつけ、ポンピングします。その際、ラック本体をしっかり押し下げ、真空パッドの全周が取り付け面に完全に密着されていることを確認してください。特に曲面や、楕円形の真空マウントを取り付ける際に縁が浮きやすく、設置不良となる可能性が高くなりますのでよく確認してください。  
取付面全体にパッドの縁が完全に接触していない場合、ポンプで真空状態を作ることが出来ないため取り付けることが出来ません。
- 5) プランジャーが跳ね返らなくなり、インジケーターバンドがポンプシリンダー内に隠れるまで繰り返しポンピングします。ラック上の全ての真空マウントも同様に取り付けてください。

※ プランジャーがポンプシリンダーに収まらない場合、またはポンピング直後に伸び続ける場合は、取り付け面・真空パッド・ポンプに対してクリーニングやメンテナンスを行ってください。また、ラックの位置をより適切な取付位置へ移動して下さい。

※ 問題を解決せずにラックを使用しないでください。ラックの脱落につながり危険です。



#### 設置方法

- 1) プロテクトカバーを外す
- 2) 綺麗で滑らかな面に SeaSucker を当ててポンピングする。

#### ラックの取り外し方とカバー

指先で SeaSucker の真空パッドのタブを取り付け面から持ち上げ、真空状態を解放します。

- ※ ラックを車に取り付けていないときは、必ず真空パッドにプロテクトカバーを取り付けて真空パッドのゴム部分を保護してください。
- ※ 収納前にパッドが保護カバーに完全に収まっていることを確認してください。真空パッドが保護カバーに完全に収まっていないと、真空パッドの端が損傷したり変形したりする可能性があります。

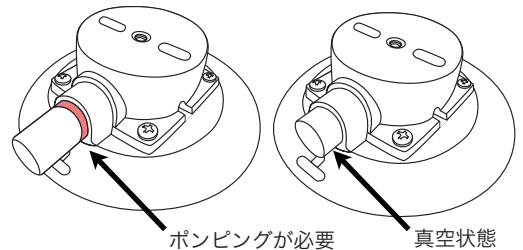
#### 取り外し方

- 1) 真空マウントのタブを持ち上げて真空状態を解除する。
- 2) 真空マウントにプロテクトカバーを取り付けて保管する。

### 使用中のインジケータバンドの確認

SeaSucker 真空マウントは、車に恒久的に取り付けることを意図したものではありません。時間の経過とともに真空が失われます。真空マウントが真空を失うと、ポンプのプランジャーを伸ばしてオレンジ色のバンドを露出させて警告します。使用中は真空マウントを監視する必要があります。車に乗り降りするときは、ラックの真空マウントにインジケータバンドが見えるかどうかを確認してください。バンドが見える場合は、上記の手順で SeaSucker を再度ポンピングしてください。インジケータバンドが最大強度までポンピングしてから 4 時間以内に見えてしまう場合は、クリーニング、メンテナンス、または再配置が必要な場合があります。ラックが真空を保てない表面に取り付けられている場合は、ラックをより適切な位置に移動します。取り付け面や真空マウントが汚れている場合は、清掃してください。これらの手順を実行してもバキュームマウントの吸着力に改善が見られない場合は、問題が解決するまで使用を中止してください。劣化や消耗した真空マウントのポンプは、必要に応じてラックに付属のスペアと交換してください。

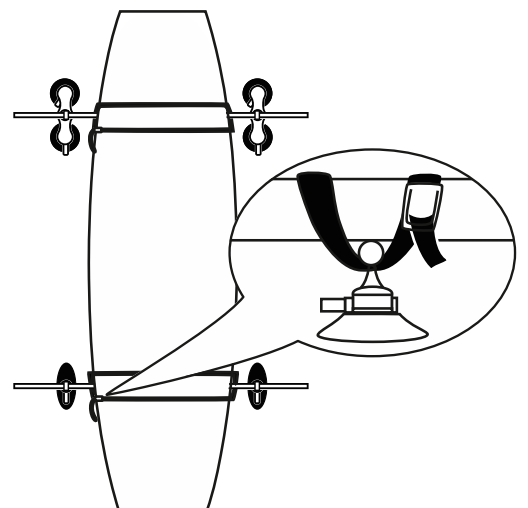
追加の交換部品は、オンラインストアの交換部品ページにて購入できます。



### 荷物をモンキーバーに固定する方法

モンキーバーの素晴らしい点の 1 つは、バーにストラップで留めることができるほとんどすべてのものを運ぶことができることです。

サーフボード、パドルボード、はしご、材木、PVC パイプ、などの貨物を固定するには、右の図のようにベルトでテンションをかけてください。



### 気象条件

SeaSucker 製品は寒い季節にも使用できます。

バキュームパッドは、低温では硬くなります。真空パッドは取り付け時に取り付け面に密着させる必要があるため、使用前にラックを室温 (16 度程度) で保管することを強くお勧めします。真空マウントが冷えすぎることによってパッドが硬くなり、適切に取り付けることが出来ません。取付面には、真空パッドが完全に密閉するのを妨げる可能性のある氷、雪、汚れ、およびその他のものがあってはなりません。凍結温度では、真空パッドの端を水で湿らせてはいけません。

雨や雨天が SeaSucker ラックの性能に影響を与えることはありません。雨や水が真空ポンプの中に入った場合は、プランジャーを引き出して、きれいなペーパータオルでポンプシリンダーの内側を乾かします。必要に応じてプランジャーシールを潤滑油チューブで注油し、プランジャーをポンプシリンダーに再度挿入します。

ネジやその他の金属部品にサビや腐食がみられた場合は部品を交換してください。

## お手入れとメンテナンス

SeaSucker ラックを最大限に活用するには、定期的に検査し、真空マウントのプロテクトカバーを付けて保管してください。

- ・ 真空パッドをシーサッカーハウジングに取り付けているネジや、シーサッカーをラックデッキに取り付けているネジなど、すべてのネジがしっかりと締められていることを確認します。
- ・ 真空パッドは使用前に毎回スポンジまたは柔らかい布、中性食器用洗剤、水で洗浄してください。このとき、刺激の強い溶剤や研磨性のクリーニングパッドは使用しないでください。真空パッドの端の部分の剛性、亀裂、粗さ、または切れ目を確認します。損傷した真空パッドは交換してください。
- ・ 真空ポンプは定期的に掃除する必要があります。プランジャーをポンプシリンダーからまっすぐ引き抜き、シリンダーの内側を食器用洗剤と柔らかい布またはペーパータオルで拭いてください。その後、シリンダー内を完全に乾かします。シリンダー内に水が残っていると、ポンプの逆止弁機能が妨げられる場合があります。
- ・ プランジャーをきれいに拭き上げ、プランジャーの先端にある黒いゴム製シールを、ラックに付属の潤滑油チューブなどのシリコンベースのゲル潤滑剤の薄い層で再潤滑する必要があります。洗浄後、プランジャーを押し戻します。シリンダーを数回ポンピングして、適切に装着し、潤滑剤を分配します。

※ ラックには交換用の SeaSucker 真空ポンプが 1 つ付属しています。

※ 追加の交換用 SeaSucker、バキュームパッド、バキュームポンプ、および追加の潤滑油チューブは、弊社のオンラインショップにてご購入いただけます。

**ラックに付属の潤滑チューブは、真空ポンプのメンテナンス専用です  
真空パッドに潤滑剤を塗布しないでください**

右の QR コードよりメンテナンスの方法が  
ご確認いただけます。

<https://youtu.be/KzTsjyWAAzc>



## 使用上の注意事項

- ・ 制限速度を超えないようにしてください。
- ・ 最大推奨荷重 約 75 kg (165 ポンド) を超えて運ばないでください。
- ・ SeaSucker のポンプにあるインジケータバンドが露出している場合は使用しないでください。
- ・ ラックのすべてのマウントが完全に吸着している状態を少なくとも 4 時間維持できない場合は、使用しないでください。
- ・ 取り付け前に取り付け面を清掃してください。
- ・ 取り付け前に真空パッドをきれいに清掃してください。
- ・ 真空ポンプは定期的に洗浄し、注油してください。
- ・ ネジ、ナット、およびボルトを定期的に検査し、必要に応じて締め直してください。
- ・ 使用しないときは、真空パッドがプロテクトカバーに完全に収まっていることを確認してください。
- ・ 十分なスペースを確保せずに、屋根に荷物を載せたまま車庫等に車を駐車しないでください。



## 所有者の責任事項

- ・このユーザーマニュアルの指示を読み、それに従う必要があります。
- ・ラックを車両に正しく取り付け、使用前に毎回確認し、必要なメンテナンスを行う必要があります。
- ・ラックを車両に正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
- ・スキー板とスノーボードをラックに正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
- ・車両に乗り降りするときは、すべての SeaSucker のインジケーターバンドを検査する必要があります。
- ・ラックがフルパワーかどうかは一目でわかります。ラックのポンプが完全に吸着しているかを確認し、インジケーターバンドが見える場合は、ラックを使用する前に SeaSucker を再度ポンプする必要があります。
- ・少なくとも 4 時間真空を保持しない SeaSucker 真空マウントはクリーニング、修理、または交換が必要になる場合があります。ラックには予備の SeaSucker 真空ポンプが付属しています。誤ってラックを損傷した場合に備えて、ラックと一緒に保管してください。
- ・掲示されているすべての法定速度制限と交通状況に従わなければなりません。
- ・運転スタイルと速度を、道路状況、気象条件、SeaSucker ラックの負荷に合わせて調整する必要があります。
- ・SeaSucker は取り外すことが前提になっている製品であり、これらが守られない場合、走行中にラックが脱落し重大な事故につながる可能性があります。日本の法令及び道路交通法に準じて、上記内容を必ず順守してください。

## トラブルシューティングガイド

問題点	問題点	問題点
ゆっくりと空気が入る	取付面 及び 真空パッドの乾燥	取付面 及び 真空パッドを湿らせる
	真空パッドの傷	真空パッドを交換する
	ポンプ内の汚れ	ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の乾燥	ブランジャーシールを再潤滑する
	真空パッドの汚れ	きれいなウエスと水で拭き上げる
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
すぐに空気が入る	真空パッドの損傷	真空パッドを交換する
	ポンプの損傷	真空ポンプを交換する
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
ポンプの詰まり または 動きの鈍さ	ポンプ内の乾燥	ブランジャーシールを再潤滑する
	パッドの空気穴が塞がっている	汚れやゴミを取り除く ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の汚れ	ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する



Designed and manufactured by:  
 SeaSucker, LLC  
 Bradenton, Florida  
[www.SeaSucker.com](http://www.SeaSucker.com)



販売元

株式会社リガーマリンエンジニアリング  
 〒511-0283 三重県いなべ市大安町南金井 1732 番地  
 WEB : <http://www.regar.co.jp>  
 TEL : [regar@regar-m.jp](mailto:regar@regar-m.jp)

並行輸入品や弊社以外からご購入された製品に関しまして、  
 弊社は一切責任を負いませんのでご注意ください。  
 お問い合わせの際は、商品に同梱されております  
 販売証明書を必ずご用意ください。